

【緑地の樹】

アカマツ<赤松>

緑地の中央広場をずーっと進むと、正面に松の木が迎えてくれます。言わずと知れたおめでたい木で、毎年恒例のお正月飾りづくりでは、マツの葉も松ぼっくりも大活躍してくれます。

寒い冬も緑を保ってくれ、日本人を元気づけてくれる木です。もちろんいつまでも葉がついているわけではなく、少しずつ交代しているのでしょう。でもマツの葉の寿命は落葉樹よりも長く、2年から10年くらいだそうです。最も葉の寿命が長いのもやはりマツで、アメリカのイガゴヨウマツはなんと33年とか！ その木は寿命も5000歳（世界最長寿）というからやはりマツはおめでたいわけです。

明るい林の中で松ぼっくりを見つけると、どうして

プロフィール：マツ科 マツ属

緑地中央広場の先、斜面の入り口にあります。

も手に取りたくなりますね。乾いていて暖かい手触りです。さかさまに振ると、まだ残っていた種が飛び出してくることも。

・・・一陣の風に乗って、どこか開けた土地で芽を出してくれるでしょうか。

(小川)



去年開いた松ぼっくりの脇に、今年大きくなる松ぼっくりの赤ちゃんもついています。



雌花はとてもかわいいです